

【資料紹介】鈴木正治の作品（山・十和田湖・後藤伍長）

中村理香¹⁾

Introduction of Works of Art By Masaharu Suzuki
: Depiction of Mountain & Depiction of Lake Towada & Depiction of Corporal Goto
NAKAMURA Rika

キーワード：鈴木正治、絵画、山、十和田湖、後藤伍長

はじめに

鈴木正治（1919～2008年）は、青森市出身の彫刻家である。生涯にわたって彫刻だけでなく様々な技法で制作活動を行ってきた。経歴等詳細については当館主催で開催した2004年特別展「鈴木正治展」、2015年特別展「寄贈記念 齋藤葵和子コレクション 鈴木正治作品展」の展示図録を参照されたい。

2014年1月、青森市在住で長年にわたり鈴木正治の創作活動を支援し、その作品を収集してきた齋藤葵和子氏から作品約2千点が当館に寄贈され、技法・形態別に整理作業を続けてきた。鈴木正治が制作した作品にはいくつかのテーマがあり、同じテーマで墨絵、木版、孔版、銅版、木彫、石彫など様々な技法で制作している。墨絵の中でもパネル装や軸装になっているものもあり、受入番号が形態別になっておりテーマ別になっていないため、今後の検索・活用をしやすいするためにテーマ毎にもまとめて整理することとした。代表的なテーマとされる「誕生」・「ウゴカズ」の絵画作品については研究紀要第46号に、「ねぶた」について、またねぶたを含む「春夏秋冬」については、研究紀要第47号で紹介した。今年度は「山」「十和田湖」「後藤伍長」について整理したものを紹介する。今後の鈴木作品の研究、及び当館収蔵作品の活用の一助になれば幸いである。現在当館は休館中でなかなか展示の機会が持てない状況であるが、今後もできるだけ機会を作って作品を展示していきたいと考えている。

多くの作品を寄贈してくださった齋藤葵和子氏の御厚意に深く敬意を表し、感謝するものである。

1 「山」「十和田湖」について

鈴木正治が描く山は、富士山や岩木山や八甲田山である。単独で山頂が平らな形で描かれる山は富士山のような形である。この山は、月や太陽と思われる円い形のものや、太く薄い墨で描かれた横長やヘアピンカーブ状の曲線の雲のような形とともに描かれている。山の形を逆に描いて、水面に映る様子を逆さ富士として大きく描いているものもある。富士山と思われる山が描かれた年代を見ると1995年が多い。1995年は6月14日に、鈴木の子である律子が30数年に及ぶ闘病生活の末亡くなっている。日付を見るとそれ以降の1か月の間にほとんどの作品が描かれていることが分かる。これらの作品は、妻喪失の悲しみに暮れながら描かれたのではないだろうか。

山頂が5つの頂を持った形で描かれているのは岩木山である。岩木山は桜やりんごの花やりんごの木とともに描かれたり、弘前を象徴する五重塔や弘前城とともに描かれたりしている。

八甲田山は8つの頂が描かれている。八甲田山は十和田湖とともに描かれていることが多い。受入番号2277-1-30は、八甲田山をバックにして手前に細長い船が2艘描かれ、たくさんの見物客とねぶたの跳人のような円陣と大きな桜の花が描かれている。堤川だろうか。十和田湖だろうか。サインの4月21日を見ると桜祭りとして行われたイベントを描いているようだ。また、八甲田山の上に大きく自転車をこぐ人物が描かれているものや、八甲田山の上を飛んでいるような横向きの人物が描かれているものもある。横向きの人物の服装は、鈴木が描く角巻のようでもある。山肌には、鈴木が好んで描く「麻の葉」や「紗綾形」の連続模様が描かれているものがある。また、八甲田山は、「春夏秋冬」のテーマの中で青森県の自然や四季を表すモチーフの一部としても描かれている。受入番号2277-1-601は、墨で描かれた抽象的な形の模様であるが、「八甲田山の雪」という題がつけられている。受入番号2277-2-4の一部にもその形の一部が描かれ「八甲田山残雪の頃」と文字で書かれている。そこには温泉につかる人々や角巻を着た人々とともに十和田湖に映り込む八甲田山の影が波模様と一緒に描かれている。

十和田湖の描かれ方を見ると、十和田湖の左下には、青海波のような二重円の連続模様が描かれていて右下には、紗綾形のような幾何学模様が描かれることが多い。また、湖に映り込む八甲田山の影や魚や龍神が描かれているものもある。受入番号2277-2-21「春夏秋冬」の十和田湖の下には、乙女の像をモチーフにデフォルメされた形が描かれている。

「岩木山」「八甲田山」「十和田湖」は、それぞれ単独で描かれるのではなく、内側に伝統模様を描いたり、青森県

¹⁾ 青森県立郷土館 主任学芸主査（〒030-0802 青森市本町二丁目8-14）

の自然や特産物とともに描いたり、行事や周辺の建造物と組み合わせるなどして、鈴木独自のデザイン化された画面構成となっている。そこには生涯青森で制作を続けた鈴木、郷土青森に対する深い愛着が表れているようだ。

2 「後藤伍長」について

画面には、ゴトウ伍長と書かれている。ゴトウ伍長こと後藤房之助伍長は、1902（明治35）年1月に、歩兵第5連隊第2大隊210人が八甲田山で遭難した際、雪の中に仮死状態で立っていて捜索隊が発見し、救援活動のきっかけとなったと伝えられる人物である。前に大きな星が付いた帽子をかぶって横顔だけが大きく描かれたものが多い。雪だるまや八甲田山の樹氷のような形の雪に覆われて剣を持って立つ姿のものもある。覆われた雪を薄い墨で太く描き、雪の中の人物の横顔や目を細い線で描いているものもある。下にねぶたの台座や車輪が描かれていて、ねぶたの題材として描かれているものもある。

鈴木の実績を見ると、1940（昭和15）年、20歳の時に岐阜の第1航空教育隊で訓練を受けて中国北支の第九一飛行場大隊へ徴兵された。その後マレー半島の戦場にも赴いた。戦友の死を間近に見るなど、悲惨な軍隊生活では、絶対命令服従の組織の中で自分の意思とは無関係に、上官の命令に従って行動したことから、「組織の命令に服従したり左右されたりする生き方を二度としたいとは思わなくなった。鈴木は自分の行動に対して、全責任を取れるような仕事をしたかった。」²⁾ という思いから、小さい時から好きだった描くことや彫ることを選択することになったということである。

なぜ後藤伍長をテーマとして取り上げるようになったかの記述を見つけることはできなかったが、多くの八甲田山の作品を制作する中で、八甲田山にゆかりの深い人物として取り上げたのだろうか。あるいは自身の経験の中で後藤伍長の生き方にどこか心ひかれ共感する部分があったのだろうか。後藤伍長を描いた動機については今後の更なる調査につなげたい。

「鈴木の実績は大胆にデフォルメされたユニークな図柄と濃淡をにじませたシンプルな線や独特な模様が綿密に描かれている。こうして描かれた作品は抽象的でユーモラスな世界をかもし出し、ほんのりとしたぬくもりをそっと包み込むようなやさしさに満ちている。」³⁾ と評されることが多いが、後藤伍長の絵は、デフォルメされたユニークな全体像の奥に勇敢で悲しいエピソードを秘めている。

参考文献

青森県立郷土館「鈴木正治展」展示図録 2004年

青森県立郷土館「寄贈記念 齋藤葵和子コレクション 鈴木正治作品選」展示図録 2015年

對馬恵美子著 [資料紹介] 鈴木正治の木彫「誕生」「ウゴカズ」 青森県立郷土館 研究紀要 第39号

伊丸岡政彦著 [資料紹介] 鈴木正治の空刷り 青森県立郷土館 研究紀要 第40号

工藤正義著 「鈴木正治の軌跡 津軽が生んだ魂の造形」草雪舎 2014年

北の街社「街なか回廊「マルイ虹ミター鈴木正治の宙（そら）」記念鈴木正治の世界～14人の文章で綴る「人と作品」2009年

注)

2) 工藤正義著 「鈴木正治の軌跡 津軽が生んだ魂の造形」35頁 より (草雪舎 2014年)

3) 工藤正義著 「鈴木正治の軌跡 津軽が生んだ魂の造形」166頁 より (草雪舎 2014年)

凡例

- ・本稿では、2024年2月現在で整理が終了した作品の中から「山」「十和田湖」「後藤伍長」の作品とデータを掲載する。
- ・図版の右下にあるデータは受入番号、資料名、技法・材質 制作年、寸法である。
- ・制作年は不明の場合は無記名とする。
- ・寸法は、縦×横の順とし、単位はすべて cm である。

「山」「十和田湖」



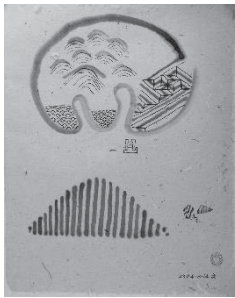
2277-1-27
水面に映る山
墨 紙
2004年
27×36



2277-1-30
八甲田山と
桜
墨 紙
2004年
45.5×35.5



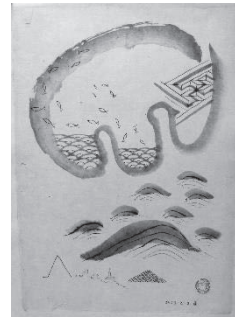
2277-1-32
十和田湖と
八甲田山
墨 紙
2002年
31.2×22.3



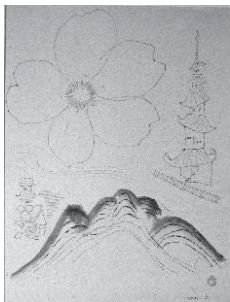
2277-1-33
十和田湖と
八甲田山
墨 紙
2004年
45.5×35



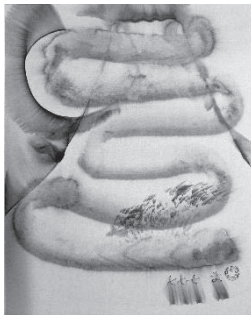
2277-1-34
十和田湖
墨 紙
2001年
66.5×50



2277-1-41
十和田湖と
八甲田山
墨 紙
2003年
39.6×28.8



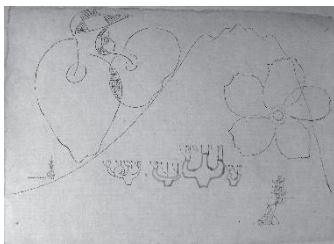
2277-1-42
岩木山
墨 紙
2001年
67×50.5



2277-1-43
山
墨 紙
47×35



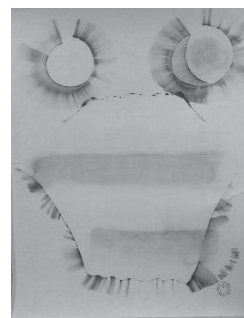
2277-1-49
春夏秋冬
墨 紙
2002年
45.5×35



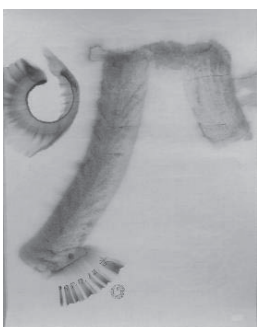
2277-1-124
岩木山とりんご
墨 紙 39.3×28.8



2277-1-130
八甲田山と
人物
墨 紙
2001年
46×36



2277-1-160
山
墨 紙
1995年
46×36



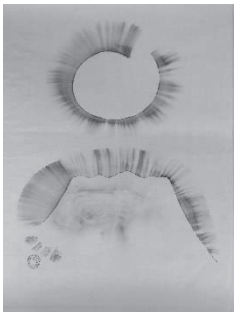
2277-1-161
山
墨 紙
1995年
46×36



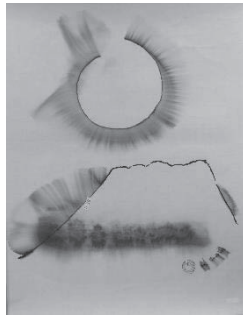
2277-1-163
山
墨 紙
1995年
46×36



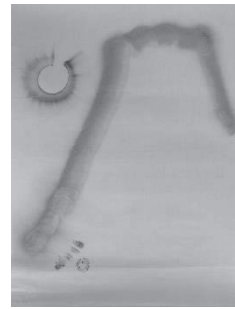
2277-1-167
山
墨 紙
1995年
46×36



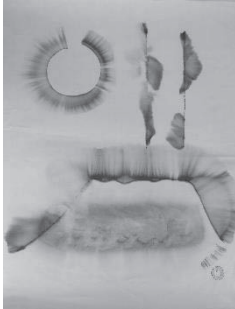
2277-1-168
山
墨紙
1995年
46×36



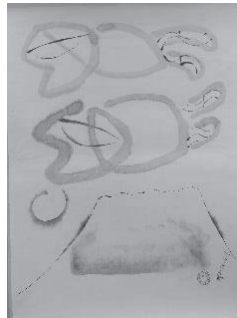
2277-1-169
山
墨紙
1995年
46×36



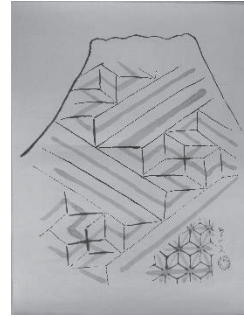
2277-1-170
山
墨紙
1995年
46×36



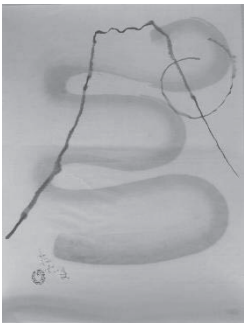
2277-1-171
山
墨紙
1995年
46×36



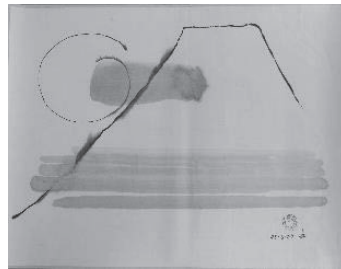
2277-1-172
山と角巻
墨紙
1995年
46×36



2277-1-173
山
墨紙
1995年
46×36



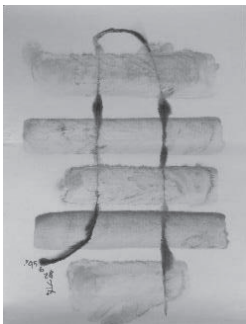
2277-1-174
山
墨紙
46×36



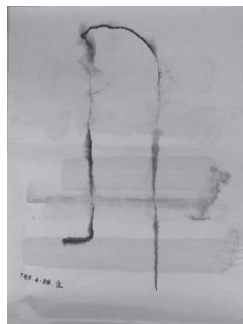
2277-1-175
山 墨紙
1995年 36×45



2277-1-177
山
墨紙
1995年
46×36



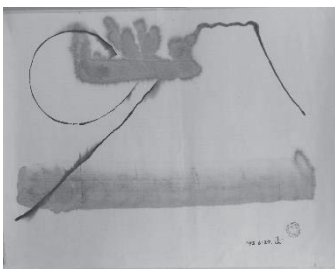
2277-1-178
山
墨紙
1995年
46×36



2277-1-179
山
墨紙
1995年
46×36



2277-1-184
山
墨紙
1995年
46×36



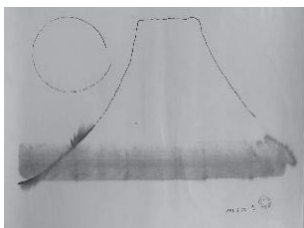
2277-1-193
山
墨紙 1995年
36×46



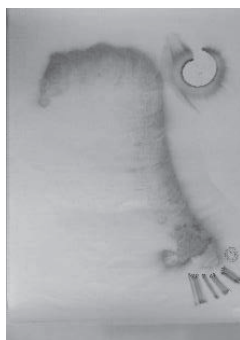
2277-1-195
山
墨紙
46×36



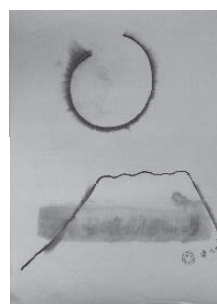
2277-1-196
山
墨紙
1995年
46×36



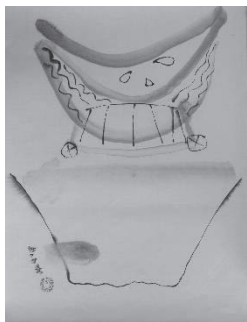
2277-1-198
山
墨 紙
1995年
36×46



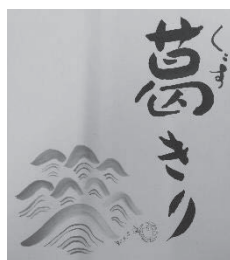
2277-1-204
山
墨 紙
1995年
46×36



2277-1-205
山
墨 紙
1995年
46×36



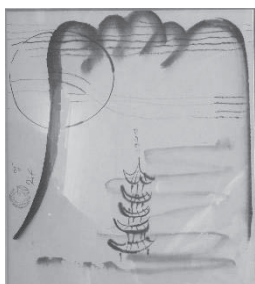
2277-1-208
すいかねぶた
と山
墨 紙
1995年
46×36



2277-1-413
葛きり
八甲田山
墨 紙
1990年
27×24



2277-1-533-2
十和田湖と
八甲田山
墨 紙
(額装)
2001年
14×9.5
(26×75)



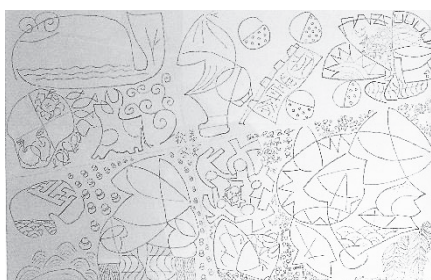
2277-1-537
岩木山
墨 紙 (額装)
1986年
26.5×23.3
(36.5×60)



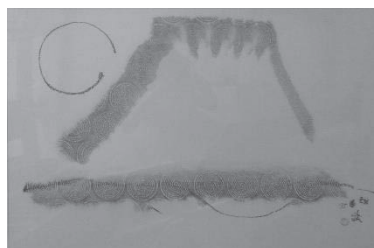
2277-1-539
山 墨 布 (額装)
1998年 48×47(72×64)



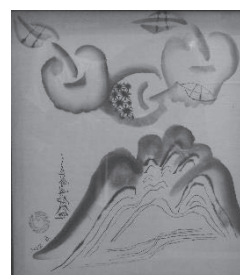
2277-1-540
十和田湖と
八甲田山
墨 紙
(額装)
2004年
74×54.5
(87×68)



2277-1-554
春夏秋冬
コンテ 紙 (額装)
1998年
59.5×90 (81×111)



2277-1-555
岩木山
墨 紙 (額装)
1995年
61.5×93.5
(87×121.5)



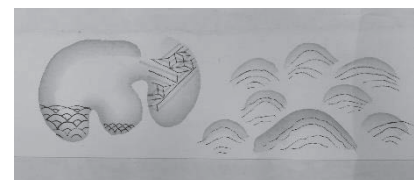
2277-1-563
りんごと
岩木山
墨 紙 (額装)
1992年
26.5×23
(30×26)



2277-1-586
十和田湖
墨 貝
(額装)
1999年
8×9.5
(19×24)



2277-1-601
八甲田山の雪
墨 紙
2000年
90×60



2277-1-626-7
十和田湖と
八甲田山
墨 紙
13×200



2277-1-679
山
墨紙
2000年
65×43



2277-1-704
八甲田山と
青森の街
墨紙
2005年
75.5×56



2277-1-756
山
墨紙
1996年
85×35



2277-2-4
八甲田山残雪の頃
墨紙(2曲1隻屏風)
1993年 176×173



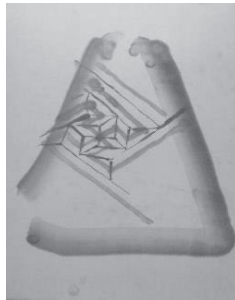
2277-2-21
春夏秋冬
墨紙
(パネル装)
2002年
99.5×65



2277-2-27
十和田湖と
八甲田山
墨紙
(パネル装)
2004年
83×63.5



2277-2-35
岩木山と桜
墨紙
(パネル装)
2002年
109.5×79



2277-2-39
山
墨紙
(パネル装)
91.3×72.2



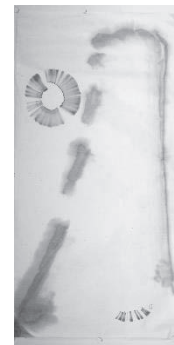
2277-2-40
山
墨紙
(パネル装)
1995年
111.5×82



2277-2-41
山
墨紙
(パネル装)
1995年
82×112



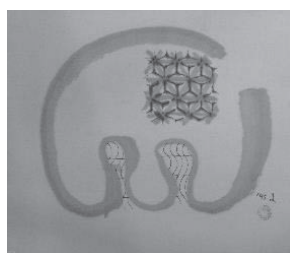
2277-2-42
山
墨紙
(パネル装)
1995年
112×82



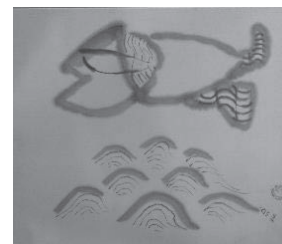
2277-2-108
山
墨紙
1996年
148×77



2277-2-141
十和田湖と
八甲田山
墨紙
(パネル装)
2002年
188×97



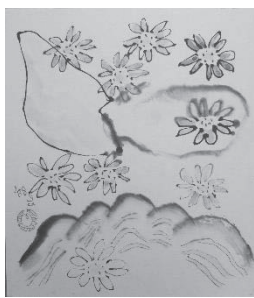
2277-2-144
十和田湖
墨板(パネル装)
1995年 36×43



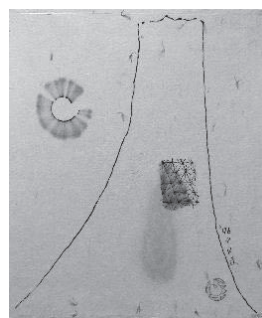
2277-2-146
八甲田山
墨板
(パネル装)
1995年
36×43



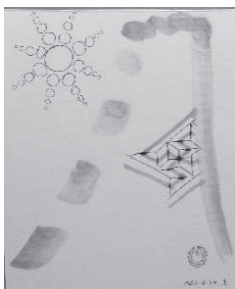
2277-5-340
山
墨 色紙
1996年
27×24



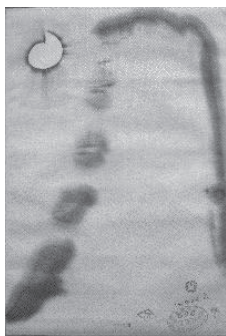
2277-5-353
岩木山
墨 絵具 色紙
1988年
27×24



2277-5-365
山
墨 色紙
1996年
27×24



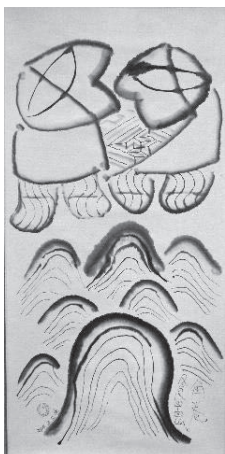
2277-5-406
山
墨 色紙
2003年
27×24



2277-9-51
山
墨 布(軸装)
1996年
55.2×36.3
(143×53.4)



2277-9-52
山と蝶
墨 紙(軸装)
1995年
67.4×34.9
(141×52.6)



2277-9-73
冬の八甲田山
と角巻
墨 紙(軸装)
1994年
69.3×34
(156.5×51.8)



2277-14-34
岩木山と岩木川
エンボス 紙
6.3×6.3



2277-14-37
十和田湖
エンボス 紙
6.3×6.3

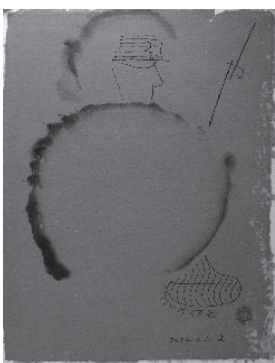


2277-14-42
りんご岩木山城桜
エンボス 紙
6.3×6.3



2277-14-60
岩木山と
エンボス 紙
6.3×6.3

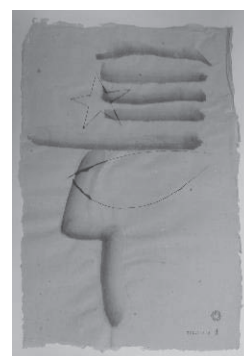
「後藤伍長」



2277-1-336
後藤伍長
墨 紙
2004年
45.5×35.2



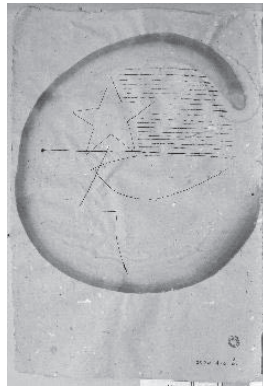
2277-1-341
後藤伍長
墨 紙
2000年
65×43.5



2277-1-342
後藤伍長
墨 紙
2000年
65×43.5



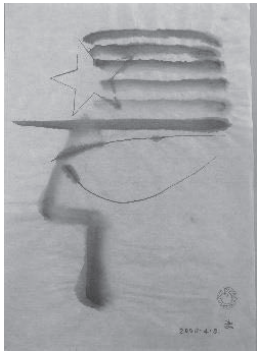
2277-1-346
後藤伍長
墨 紙
2000年
65×43.5



2277-1-348
後藤伍長
墨 紙
2000年
64.5×43



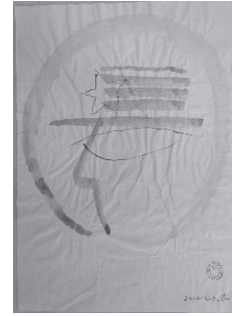
2277-1-349
後藤伍長
墨 紙
2000年
64×43



2277-1-461
後藤伍長
墨 紙
2000年
36×25.5



2277-1-462
後藤伍長
墨 紙
2000年
36×25.5



2277-1-463
後藤伍長
墨 紙
2000年
36×25.5



2277-1-541
後藤伍長
コンテ 紙
(額装)
2004年
74×54.5
(87×68)



2277-1-625-1
後藤伍長
墨 布
14×1800



2277-1-676
後藤伍長
墨 紙
2000年
65×43



2277-1-731
後藤伍長
墨 紙
2004年
96×65



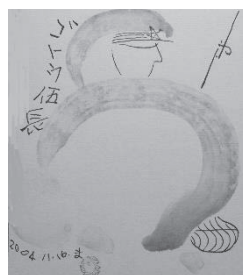
2277-2-23
後藤伍長
墨 紙
(パネル装)
100×65



2277-2-25
後藤伍長
墨 紙
(パネル装)
2002年
97×49



2277-2-48
後藤伍長
墨 紙
(パネル装)
2002年
99.5×65



2277-5-370
後藤伍長
墨 色紙
2004年
27×24